

景観美評価、多治見ハーモニー大賞 「とうしん学びの丘」受賞



自生の松囲み、周囲と調和

多治見市の街並みに調和した景観美を作り出している建築物を表彰する「第22回多治見ハーモニー大賞」(多治見商工会議所主催)に、同市虎渓山町の「とうしん学びの丘エール」が選ばれ、同商議所の議員総会で表彰された。

(高木俊徳)

同賞は街の景観や美観の向上を目的に1985年に創設。今回は自薦を含め11件の推薦があった。

エールは、東濃信用金庫が昨年5月に建設。外装、内装にモザイクタイルをふんだんに使い、自生していたダイオウマツを伐採するのはでなく、松を取り囲むような円形状の展示棟にするなど、周囲の空間と調和させている。「地域の景観をリードし、住民の親しみ、誇りとなるような

本年度のハーモニー大賞に選ばれた「とうしん学びの丘エール」は多治見市虎渓山町

シンボリックな建物」と評された。

総会では、第5回多治見ビジネス・イノベーション大賞で大賞に輝いたカロツェリ

ア・カワイ(同市脇之島町、川合辰弥社長)と、奨励賞の「41 girls(フォーティワンガールズ)」(同市大日町、木下貴子代表)、聖和セラミック(同市笠原町、中根聖彦社長)の表彰も行われた。